

Publication: Bangkokshuho

Type: Newspaper

Date: July 7-13, 2008

Author:

Language: Japanese

2008年7月7日~7月13日 วันพุธที่ ๗ กรกฎาคม พ.ศ. ๒๕๕๒

บางกอกทูเดย์ **バンコク週報** 文化 CULTURE

http://www.bangkokshuho.com 12



作品の解説をするナウイン(右)



漫画を媒体とした作品も多い



「ナウイン・サラ」展覧会と同様に刊行された作品集

【ナウイン・サラ】  
会期 8月10日(日)まで  
会場 サ・ラー・プラムナード(パニンチュラホテル並び)  
 BTSサラー・タクシン駅のホテル・シトル・ホー  
 ト乗り場から徒歩10分  
 入場無料  
 問い合わせ 電話 02-881-1971

### タイの世界的アーティスト ナウイン・ラワンチャイクン タイ初の回顧展はコンドのショールームで 約15年の活動を振り返る

世界的に知られるインド系タイ人のアーティスト、ナウイン・ラワンチャイクンの展覧会がバンコク都内で8月まで開かれる。この展覧会は、タイで初めてとなる同氏の木格的な回顧展だ。バンコクのタクシーを移動ギャラリーに見立てた初期の作品から、最新のフォトノベル作品までを広くカバーしており、同氏の約15年に及ぶ活動を振り返ることができる。

ナウインは71年チェンマイ生まれ、タイはもちろぬ、パリやニューヨーク、東京でも展覧会を行なうなど、世界的に活躍している。妻は日本人で、福岡に住んだ経験もあり、日本との関わりも深い。2006年に開かれたジム・ト

ンプソン生誕100周年記念の展覧会や、タイの伝統的な布「パーカウマイ」を使ったジム・トンプソンのコラボレーション、バッグなどが在タイ日本人にも知られている。今回の展覧会の会場は、チャオプラヤ川沿いのコンド「ミニアム」のショールーム。周辺でもひととき目立つガラス張りの3階建ての建物で、展覧会を企画したキム・レーターのステイト・オブ・ペティファートのアイデアで選ばれた。同氏は、都内の展覧会情報を伝えるフリーペーパー「バンコク・アート・マップ」の編集者、ショー・ルーは同誌のスポンサーである不動産開発会社、ライモンランドのコンド「ミニアム」(サ・ラー・プラム)敷地内にある。ペティファートはこの

場所でもJなどのイベントはやってきたが、アートは初めて。翌が大きくギャラリのような空間で展覧会にぴったりだ。上手にいったと思う」と自信を見せる。ナウイン本人も「この場所は知らなかったが、やってみて面白いと思った」と満足そうだった。

この展覧会に先立って行われたのが、これまで活動の集大成ともいえる作品集「ナウイン・サラ」の制作だった。約2年かけて作られたこの本は、416ページに収録のコミックがついて重さ約2kgという大作。この本のクリエイティブ・ダイレクターを務めたのが日本人女性デザ

イナー・越後吉子さん。越城さんは主に雑誌のデザインを手がけており、今回のように本1冊をまるごと担当したのは初めてのことだ。「細め切りもページ数も未定でスタートしました。開いたのは8カ月くらいですが、終わる1カ月くらい前からナウインさんのアイデアが次々出てきて当初よりページが増えました。でも、良い作品になったと思います。ナウインさん自身スタッフの内幕だ。



ジム・トンプソンとのコラボレーションによる新作コレクション

### 展覧会『アート・オブ・タイム』 美術作品と腕時計のコラボレーション 都内ゲイソンで開催

都内の高級ショッピングセンター、ゲイソンで7月20日まで、一流の美術作品と高級腕時計が一堂に会す展覧会「アート・オブ・タイム」が開催されている。美術作品は、ピカソやルノアール、マティス、ミロ、シャガール、それにタリなど、19

世紀から20世紀の有名なアーティストの絵画や版画、オブジェなど計33点を展示。これらは、米国のハリウッドとフランスの高級時計を持つ「モシー・ヤトガ」画廊から出展されている。腕時計は、時計販売会社のPMTアークラスの時計博物館(MOCH A)の貴重なアンティーク時計のコレクションをはじめ、ブレゲ、ブランパン、クラフスヒューブ、ジャケ・ドローなど伝統のブランド、それにフランスのラント、それにフランスのラント、それに五

輪公式タイムキーパーのオメガが製作した北京五輪の限定モデルまで、100点以上が展示されている。7月1日に在タイ・スイス大使を招いて開会式が行われ、約200人の招待客や関係者が集まった。



ブランパンの「マスター」の腕時計

た。ゲイソン・ランド・アセット・マネジメントのチャーン・シリウィットン会長は、「この展覧会は、時間の意味について考え、アーティストの表現に繋がる良い機会になる」と挨拶した。今回の展覧会では、美術、時計ともに展示だけでなく販売もされている。7月1日の時点で、すでに推定数億万円のピカソの絵画2点とルノアールの版画1点が売却済み。さらにショパールの腕時計1点が予約済みとなっていた。



シャガールやタリなどの作品と高級腕時計

「アート・オブ・タイム」  
会期 7月20日(日)まで  
会場: ゲイソン・ショッピングセンター (ラマ9通り、 BTSチーク(地下鉄)1階)  
入場無料

Bangkokshuho, July 7-13, 2008



作品の解説をするナウイン (右)

Bangkokshuho, July 7-13, 2008

漫画を媒体とした作品も多い

『ナウインズ・サラ』  
展覧会と同時に刊行された作品集

『ナウインズ・サラ』

会期 8月10日(日)まで

会場 ザ・リバー・プロムナード(ベニンシュラホテル並び)

※BTSサバーン・タクシン駅のホテル・シャトル・ボート乗り場から送迎ボートが出ている

入場無料

問い合わせ 電話 02-861-1971

Bangkokshuho, July 7-13, 2008

タイの世界的アーティスト ナウイン・ラワンチャイクン

タイ初の回顧展はコンドのショールームで  
約15年の活動を振り返る

世界的に知られるインド系タイ人のアーティスト、ナウイン・ラワンチャイクンの展覧会がバンコク都内で8月まで開かれる。この展覧会は、タイで初めてとなる同氏の本格的な回顧展だ。バンコクのタクシーを移動ギャラリーに見立てた初期の作品から、最新のフォトノベル作品までを広くカバーしており、同氏の約15年に及ぶ活動を振り返ることができる。

ナウインは71年チェンマイ生まれ。タイはもちろぬ、パリやニューヨーク、東京でも展覧会を行うなど、世界的に活躍している。妻は日本人で、福岡に住んだ経験もあり、日本との関わりも深い。2006年に開かれたジム・ト

ンプソン生誕100周年記念の展覧会や、タイの伝統的な布「バーカウマー」を使ったジム・トンプソンのコラボレーション。バックなどが在タイ日本人にも知られている。

今回の展覧会の会場は、チャオプラヤ川沿いのコンドミニアムのショールーム。周辺でもひととき目立つガラス張りの3階建ての建物で、展覧会を企画したキュレーターのスティーブン・ペティフォアは「この展覧会に先立って行われたのが、これまで活動の集大成ともいえる作品集『ナウインズ・サラ』の制作だった。約2年かけて作られたこの本は、416ページに付録のコミックがついて重さ約2kgという大作。この本のクリエイティブ・ダイレクターを務めたのが日本人の女性デザ

場所ではDJなどのイベントはやっていたが、アートは初めて。窓が大きくギャラリイのような空間で展覧会にぴったりだ。上手くいったと思う」と自信を見せる。

活動の集大成の作品集

「この展覧会に先立って行われたのが、これまで活動の集大成ともいえる作品集『ナウインズ・サラ』の制作だった。約2年かけて作られたこの本は、416ページに付録のコミックがついて重さ約2kgという大作。この本のクリエイティブ・ダイレクターを務めたのが日本人の女性デザ



ジム・トンプソンとのコラボレーションによる新作コレクション

イナ・葛城杏子さん。葛城さんは主に雑誌のデザインを手がけており、今回のように本1冊をまるごと担当したのは初めてのことだ。

「締め切りもページ数も未定でスタートしました。関わったのは8カ月くらいですが、終わる1カ月くらい前からナウインさんのアイデアが次々出てきて当初よりページが増えました。でも、良い作品になったと思います。ナウインさんはスタッフ

フというよりコラボレーターというスタンス。新しい雑誌を作るといふコンセプトのもと、私のアイデアも生かされたので、自分のやりたいこともできました」（葛城さん）  
漫画や映画看板スタイルの絵画、ポスターなど、ポップな手法を多用するアーティストらしく、この本は単なるカタログではなく雑誌形式で、ナウインを知らない人にとっても楽しめる盛りだくさんの内容だ。